

「倉吉銀座商店街」について

明治45年、当時の日本国有鉄道倉吉線、倉吉駅前の商店街として誕生しました。戦後も地域住民や周辺町村からの通学・通勤者、買物客等で大いに賑わいを見せ、昭和26年には任意団体として倉吉商店会を設立し、昭和59年に法人化して倉吉銀座商店街振興組合となりました。人口減少や車社会の到来により昭和60年に倉吉線が廃線になり、また鳥取県中部地震により、一時は商店街の体を為さなくなる寸前まで追い込まれました。しかし、この危機か組織の結束を強めることとなり、若い経営者も商店街活動に参画。新規出店にもつながり、組合加盟店舗数も80店舗まで増加しています。鳥取県立美術館の開館に合わせ「GINZA ART PROJECT」が始動しております。



期間内にスタンプを集めて応募いただくと…
豪華景品・アートグッズなど
抽選で **プレゼント!**

応募期間: 2025年3月30日(日)~9月30日(火)

本紙中面に記載の7か所中、4か所以上(定休日等を考慮)のスタンプを集めて、各店舗の応募箱に投函いただくと、抽選で鳥取県や倉吉銀座商店街の豪華景品、鳥取県立美術館アートグッズ等を進呈!!



詳しくは [倉吉銀座商店街ホームページ https://kurayoshi-ginza.com/](https://kurayoshi-ginza.com/)



切り取り線

応募者情報を切り取りいただき、各店舗に設置の応募箱に投函してください。

応募者情報 (景品配送に必要なため)

お名前	連絡先
ご住所	

ご感想

●アートスタンプラリーの感想

●県美に行かれてたら感想

●倉吉市の感想

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---	---	---

GINZA
ART PROJECT

商店街 美術館

アート
スタンプ
ラリー

実施期間

2025
3/30 SUN ~ 9/30 TUE

作品展示アーティスト紹介



青己
はなね

米子市出身の画家。
青一色で描かれる緻密な線画。多く描かれる動物の絵は、実物や写真を見ながらではなく、全て想像にて描く。

作品展示場所
①Harukiya Cafe



OBAN
TAIKA

倉吉市出身のアーティスト。
現在は東京の美術学校に通っている19歳。海外のポップカルチャーやストリートシーンから影響を受け、モノクロで描いた写実的な絵にカラフルでポップなデザインを組み合わせたアートを制作している。

作品展示場所
⑥プライダルハウスとさき



伊吹
春香

鳥取市出身のイラストレーター。
レトロでかわいい女の子を描き、人気を博している。鳥取を拠点に、関東・関西などに活動範囲を拡大。広告、パッケージデザイン等を多く手がけている。

作品展示場所
③久楽（赤瓦五号館）



SAWA

湯梨浜町出身の高校生アーティスト。
スプーンの前から滴り落ちるペンキで線を描く「スプーンアート」と呼ばれる作品を手画がける。昨年、倉吉百花堂にて初の個展、また倉吉美術館ロビー展など参加。

作品展示場所
④小林薬局



えんどう
さとし

米子市出身のペン画家。
滞在了インドネシアで出会ったペン画に感銘を受け、芸術の道を志す。絵画だけでなく幼児教育を学びながら絵本の制作も行っている。

作品展示場所
⑤まんばや



辻子
誠

倉吉市在住のイラストレーター。
母親の出身地である鳥取県に魅力を感じ、東京から移住。人間は自然界を尊敬し、同時にその脅威も認識した科学技術の進歩が主なテーマ。

作品展示場所
⑦こーみーハウス

その他作品展示



八賢士 KAMI 像 + 和傘のあかりアート

倉吉在住の造形作家 岡村貴史さんが、因州和紙で制作した里見八賢士のあかりの立体モニュメント KAMI 像（かみかたち）。

作品展示場所
②赤瓦一号館

作品展示 MAP



アートスタンプラリー 参加方法

- ①スタンプが設置された7つのアート展示スポットのうち、**4つ以上**のスタンプを集めよう!
- ②裏面のアンケートを記入して、各店舗に設置の応募箱へ投函。
- ③当選者には後日豪華景品を郵送にてプレゼント!



商店街
美術館

アートスタンプラリー
2025
3/30(日) ~ 9/30(日)